

会計名 一般会計			（仮称）夢と学びの科学体験館整備事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館		
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	福祉安全						
			基本施策	次世代育成・子育て支援						
			施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的		中央児童館を夢と学びの科学体験館として改修整備するとともに、プラネタリウム投映機器を更新し、最新の魅力的な施設として整備する。	主たる内容	○科学体験や科学遊びが楽しめる施設に整備する。 ○光学式とデジタル式を兼ね備えた最新型のハイブリッド式プラネタリウムを導入する。 ○ドームスクリーンを張り替え、座席を更新する。					
	位置づけ		関連計画							
			根拠法令							
	対象者		対象者を限定せず	事業期間	平成25年度～平成26年度					
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>科学体験館整備工事実施設計</li> <li>プラネタリウム更新工事着工（2カ年の継続工事）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>科学体験館整備工事完了</li> <li>プラネタリウム更新工事完了</li> </ul>		_____		
成果		科学体験館整備工事及びプラネタリウム更新工事を完了した。								
課題		オープンに向け、ラボでの科学実験や簡単工作などのコンテンツ開発など、具体的な運用方法を確立する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		科学体験館整備事業進捗状況（%）			—	10.0	100.0	—	—	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	77,720	529,282	0	合計	529,281,592円		
	財源	特定財源	0	0	50,000	0	需用費	24,018,253円		
		一般財源	0	77,720	479,282	0	委託料	17,766,000円		
	職員人件費②		0	6,312	8,447	0	工事請負費	450,195,134円		
	総事業費（①+②）		0	84,032	537,729	0	原材料費	234,684円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	26年度特定財源名称				備品購入費 37,067,521円	
		26年度までの累積事業費		0	寄附金					
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			(仮称) 夢と学びの科学体験館整備事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	4			
C H E D C K ハ 評 価	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	旧来の児童館施設から、普段学校では体験できない科学をテーマとした実験やショーなどのコンテンツと最新型のプラネタリウムを備えた科学体験館への刷新により、施設の魅力を増幅し、利用年齢層のターゲットを広げる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	プラネタリウム更新の業者選定にプロポーザル方式を採用し、導入機器、ソフトウェア及び映像コンテンツまでのワンパッケージの提案を受け、より高水準かつ施設の実情に即した提案を採用した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市の科学体験活動の拠点として、ものづくり産業を基盤とする市の未来を支える子どもたちを中心に、科学への関心を高めるとともに、科学にまつわる郷土の偉人に関する展示物による郷土の歴史文化に対する市民意識の醸成を目指し、総合計画における将来都市像の実現に寄与する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	「ものづくりのまち」として市の魅力を内外にアピールし、科学体験を通して未来を担う子どもたちの夢と学びの心を育む。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成27年度のオープンに向け、未来を担う子どもたちの夢と学びの心を育む各種プログラムの充実を図る。					

会計名			中央児童館大規模改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	公共施設の質の確保、ライフサイクルコストの削減に向けて、計画的に予防保全を図る。	主たる内容	○改修工事 ・建築工事 エレベータ改修 屋上防水 外壁改修 ・電気工事 幹線、動力、電灯、コンセント改修 キュービクル取替、自家発電装置取替 ・管工事 受水槽取替 給水管、排水管取替 付帯設備改修					
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～平成26年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						中央児童館の大規模改修工事を行った。			
成果		老朽化した施設を予防保全し、耐用年数の伸長ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		大規模改修工事進捗率（％）			—	—	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	146,900	0	合計	146,900,000 円	
	財源	特定財源	0	0	70,000	0	工事請負費	146,900,000 円	
		一般財源	0	0	76,900	0			
	職員人件費 ②		0	0	3,520	0			
	総事業費（①+②）		0	0	150,420	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0		繰入金			
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			中央児童館大規模改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	昭和56年に整備され、竣工後33年を経過し老朽化した中央児童館を、（仮称）夢と学びの科学体験館整備事業と併せて大規模改修を施し、公共施設として求められる安全性の確保及び機能維持を図った。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	開館と同時に整備されたプラネタリウムはその機器設備の老朽化及び技術進歩に伴う投影能力の相対的低下は明らかであり、更新時期の見極めを待つ状態であったが、今回の大規模改修と同時に施設全体の機能見直しを含む更新整備を行うことにより、コストの節減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	刈谷市公共施設維持保全計画に基づき実施。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	安心、快適なサービスを提供するための機能維持、予防保全による耐用年数の伸長、ライフサイクルコストの削減を図った。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
竣工に伴い、事業目的を達成した。					

会計名			中央児童館管理事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館			
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館			
3	2	4									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	子どもの居場所づくり								
	目的	中央児童館の適切かつ効率的な運営を図るため、施設の維持管理を行う。				主たる内容	中央児童館の施設機能を維持するため、各種点検や清掃、保守管理、警備委託等を実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画								
			根拠法令	児童福祉法							
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館閉館中、工事着手前期間及び竣工後新規開館までの期間中の施設維持管理を適切に行った。		_____			
成果		中央児童館の改修工事準備、オープン前準備に係る施設維持管理を適切に行った。									
課題		（仮称）夢と学びの科学体験館竣工に伴う平成27年度以降の業務内容及び館内区画の変更に対応する管理体制の確立。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標		中央児童館開館日数（日）			308	308	—	—	—		
成果指標		中央児童館利用者数（人）			85,090	91,888	—	—	—		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		11,690	11,861	3,665	0	合計	3,664,840円			
	財源	特定財源	251	243	168	0	需用費	1,821,505円			
		一般財源	11,439	11,618	3,497	0	役務費	88,100円			
	職員人件費②		4,598	3,156	1,760	0	委託料	292,658円			
	総事業費（①+②）		16,288	15,017	5,425	0	使用料及び賃借料	1,462,577円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称					
		26年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
28年度以降の事業費見込		0									

会計名			一ツ木児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	一ツ木児童館を適切に管理・運営をすることにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。		主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、地域児童館の管理・運営を行う。 開設場所 一ツ木福祉センター内				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果		指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。							
課題		平成26年度に引き続き、新しい行事を展開し魅力的な児童館の運営に努めること。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		一ツ木児童館開館日数（日）			307	308	307	309	309
成果指標		一ツ木児童館利用者数（児童クラブを除く）（人）			15,585	16,046	18,808	16,600	17,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		8,036	8,018	8,327	8,560	合計	8,326,560円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	61,560円	
		一般財源	8,036	8,018	8,327	8,560	委託料	8,265,000円	
	職員人件費②		1,768	2,104	1,056	1,497			
	総事業費（①+②）		9,804	10,122	9,383	10,057			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			なのはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	地域の児童館として、なのはな児童館を適切に管理・運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	なのはな児童館の指定管理管理者として市川商事株式会社を指定し、地域児童館の適切な管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなのはな2階			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン					
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成23年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果		指定管理者として市川商事㈱を指定し、なのはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。							
課題		平成26年度に引き続き、新しい行事を展開し魅力的な児童館の運営に努めること。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		なのはな児童館開館日数（日）			307	308	307	309	309
成果指標		なのはな児童館利用者数（人）			8,593	8,513	8,576	9,000	10,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		4,043	4,054	4,050	4,187	合計	4,050,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,050,000円	
		一般財源	4,043	4,054	4,050	4,187			
	職員人件費②		1,768	2,104	1,408	1,871			
	総事業費（①+②）		5,811	6,158	5,458	6,058			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	プラネタリウムの保守管理業務及び番組制作を行い、一般投映・学習投映を実施することにより、子どもたちの星や宇宙への関心を高める。	主たる内容	プラネタリウムの性能を維持するため定期的に保守管理を行う。 番組の制作については、刈谷市教育研究会のプラネタリウム教材開発委員会に委託して、一般投映番組と学習投映番組を制作して投映する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和56年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		プラネタリウム機器更新のため投映なし		一般投映（オリジナル番組等の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4,6年生・中学1年生）		
成果		子どもたちの星や宇宙への関心を高めるため、プラネタリウム機器の更新を行うことができた。								
課題		プラネタリウム機器更新後の番組制作や投映方法について具体的な方策を立てる必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度				
活動指標	プラネタリウム投映回数（回）	379	372	—	707	707				
成果指標	プラネタリウム入場者数（人）	30,629	31,955	—	46,460	50,000				
他市との比較検証	愛知県内11施設中、2番目に古いプラネタリウム機器である。 入場者数 豊田60,300人 安城17,239人(平成24年度)									
C 事業コスト V	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		8,987	8,715	314	0	合計	314,120 円		
	財源	特定財源	596	611	0	0	旅費	94,120 円		
		一般財源	8,391	8,104	314	0	委託料 負担金、補助及び 交付金	200,000 円 20,000 円		
	職員人件費 ②		7,428	7,715	3,520	7,112				
	総事業費（①+②）		16,415	16,430	3,834	7,112				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	交通児童遊園の指定管理者として都市施設管理協会を指定し、施設の適正な管理運営を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	児童・保護者		事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO実績 計画V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。	
成果		児童に健全な遊び場を提供しその健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を、安全で効率的に管理運営することができた。							
課題		利用料金が安く本格的な遊具が揃っているというマスコミの情報提供により、施設の受入能力以上に人が集中し混雑することがあった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		交通児童遊園開園日数（日）			299	297	290	300	300
成果指標		交通児童遊園乗物利用状況（人）			1,337,330	1,336,363	1,332,598	1,340,000	1,350,000
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		85,882	89,052	96,866	110,726	合計	96,865,545 円	
	財源	特定財源	64,159	63,878	72,186	69,229	需用費	4,482,000 円	
		一般財源	21,723	25,174	24,680	41,497	役務費	28,237 円	
	職員人件費②		1,415	701	1,056	1,871	委託料	92,355,308 円	
	総事業費（①+②）		87,297	89,753	97,922	112,597			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料 財産収入			
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設整備事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園は近隣市の中でも人気が高い施設であり利用者数も多いため、施設の消耗や劣化も早い。多くの利用者が常に安全かつ快適に楽しむことができるように施設を整備する。				主たる内容	交通児童遊園利用者の安全性・利便性の向上を図るため、必要に応じて老朽化した施設を整備・更新する。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市次世代育成支援行動計画								
		根拠法令 児童福祉法								
		対象者 児童・保護者				事業期間	昭和50年度～			
		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		薬師川沿いのフェンス取替工事、人工芝すべり台（東エリア）の人工芝張替工事、案内看板の整備を実施した。		SL機関車階段付近の転落防止フェンス設置工事、ゴーカートコース補修工事、便所汚水管の修繕を実施した。		気中開閉器高圧地絡継電器付取替工事、キッズコースター転落防止工事、ミニ新幹線排水工事、操作室内空調設置工事、エレベーター改修工事を実施した。		日除けテント設置工事、ポセイドン安全ベルト設置工事、法面改修工事、移動販売車用コンセント盤設置工事を実施する。		
成果		交通児童遊園の施設を必要に応じて整備・改修を進め、利用者の安全性・利便性の向上を図ることができた。								
課題		利用者の安全性・利便性を継続的に確保していくため、計画的に施設の修繕整備を進めていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		交通児童遊園工事箇所数（箇所）				3	3	5	6	5
成果指標		交通児童遊園乗物利用者数（人）				1,337,330	1,336,363	1,332,598	1,340,000	1,350,000
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,087	5,000	5,395	69,754	合計	5,395,200 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	5,395,200 円		
		一般財源	3,087	5,000	5,395	69,754				
	職員人件費 ②		1,415	1,403	1,056	1,497				
	総事業費（①+②）		4,502	6,403	6,451	71,251				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								